

シンガポール 輸出者向けガイド(抜粋)

米国農務省GAINレポート 2025年6月30日

これは米国農務省海外農業局シンガポール事務所が作成した「輸出者向けガイド年次報告書」の要旨及びファクトシートを翻訳したものであり、米国政府の公式見解及びデータとは異なる場合があります。

要旨

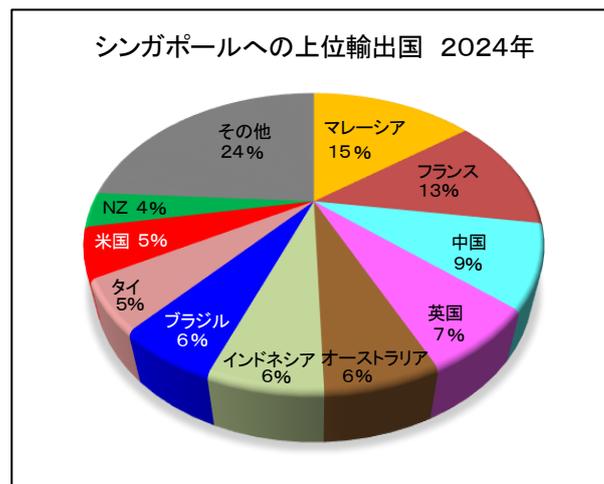
シンガポール経済は2024年に4.4%拡大したが、2025年には世界的な不確実性と貿易摩擦により減速すると予想されている。この都市国家は、食料、エネルギー及び資源の安定した供給を確保するため、世界の合計187カ国からの輸入に大きく依存している。その多様で、競争が激しく、非常にダイナミックな小売食品セクターは、主に国際的な観光と消費者支出によって支えられている。シンガポールの2024年の農産物及び関連製品の総輸入額は182億米ドルに達し、米国は6%の市場シェアを占めた。

ファクトシート

要約

シンガポールの食品産業は、数十億ドル規模で、輸入依存度が高く、堅調な個人消費、高い可処分所得、及び高度な都市化によって牽引されている。同国の貿易政策及び規制政策は、安全で高品質な食品及び農産物の海外からの安定的な供給を確保することに焦点を当てている。シンガポールの2024年の農産物及び関連製品の総輸入額は182億米ドルに達し、そのうち約6%が米国産であった。

消費者向け農産物の輸入



食品小売業

シンガポールの食品小売セクターは高度に発展しており、非常に競争が激しく、2024年の消費者向け食品の総輸入額は110億米ドルに達した。パンデミック後には正常な状態に戻っている。このセクターを主導しているのは、フェアプライス協同組合(全国労働組合会議(NTUC)が設立)、デリーファームインターナショナル(DFI)*、シエンション(昇菘)スーパーマーケットチェーンの3つの事業者である。(※次ページの訳注参照)

食品加工業

シンガポールの食品加工産業は比較的小規模である。しかし、加工業界で使用される原材料は、ほとんどすべて輸入されている。

フードサービス

シンガポールには、高度に発達し、競争力のあるホテル、レストラン及び施設・団体向け(HRI)のフードサービス部門がある。同国は2024年に1,650万人の訪問者を受け入れ、その支払いによる収益は230億米ドルに達した。観光は、主要な国際会議や招待制または会員限定のコンサートの開催及び国内需要の増加に伴い回復した。HRI部門は、2025年に大幅に成長すると予想されている。

クイックファクト 2024暦年

<p>消費者向け農産物の輸入額: 110億ドル</p> <p>伸び率の大きい消費者向け輸入農産物上位品目</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 調製品(調理済み食品) (2) 乳製品 (3) ベーカリー、シリアル、パスタ (4) 生鮮果実 (5) 家禽、肉、肉製品 (6) チョコレート及びココア製品 (7) ワイン及びビール (8) 野菜加工品 (9) ナッツ類 (10) 魚介類 <p>流通経路別食品産業の構成</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>食品小売業</td> <td>120億ドル</td> </tr> <tr> <td>フードサービス(HRI)</td> <td>100億ドル</td> </tr> <tr> <td>食品加工業*</td> <td>90億ドル</td> </tr> <tr> <td>食品・農産物の輸出額</td> <td>150億ドル</td> </tr> </table> <p>*主にソーダ原料の製造</p>	食品小売業	120億ドル	フードサービス(HRI)	100億ドル	食品加工業*	90億ドル	食品・農産物の輸出額	150億ドル	<p>シンガポールの上位小売業者</p> <p>NTUC協同組合 マクロバリュー※ シェンジョンスーパーマーケットチェーン</p> <p>(※訳注: 本報告書の本文及びその他の情報によると、マクロバリューは2025年3月に、DFIからコールドストレージリテールグループを買収することを発表しました。)</p> <p>GDP/人口</p> <p>人口: 600万人 GDP: 5,473億9千万ドル 1人当たりGDP: 90,689ドル</p> <p>出典: シンガポール統計庁、貿易データモニター、世界銀行、ユーロモニター</p>
食品小売業	120億ドル								
フードサービス(HRI)	100億ドル								
食品加工業*	90億ドル								
食品・農産物の輸出額	150億ドル								

SWOT分析

<p>機会</p> <ul style="list-style-type: none"> - シンガポールの小売、食品加工、HRIセクターは、幅広い輸入食品や原材料に大きく依存している。 - 高い可処分所得が、プレミアム製品の需要を喚起している。 - シンガポールは流行の発信地であり、飲食料品のコンセプトの発信拠点として理想的である。 	<p>脅威</p> <ul style="list-style-type: none"> - シンガポール市場は非常に競争が激しく、特定の製品に関してはかなり価格に敏感なことがある。 - 中国及びこの地域のその他のサプライヤーが、大きな市場シェアを獲得している。
<p>強み</p> <ul style="list-style-type: none"> - 米国産の食品・農産物は信頼されており、高品質であると認識されている。 - 米国のトップブランドは人気が高く、強い需要がある。 	<p>弱み</p> <ul style="list-style-type: none"> - 米国の多くの輸出業者はこの市場に精通していないため、特定の要件や発注量に対応できない場合がある。 - ブランド構築のためには時間をかけた取組みが重要になる可能性がある。